

土浦市の 新年度予算

市立幼稚園の廃止、保育所の売却、 家庭ゴミ有料化など暮らしに大影響

土浦市議会は3月の定例会で、総額969億7千万円となる市の2017年度予算案を承認しました。新規事業には市民会館の耐震化と大規模改造事業、新図書館 ICT 推進事業などがあります。

日本共産党市議団は、住宅リフォーム助成制度の継続などは評価しながらも、市立幼稚園を18年度に5園中3園を廃止する準備のための予算や、市立竹ノ入保育所を民間に売却するための予算、家庭ゴミの有料化を18年10月に導入

することを前提とした準備経費、各種施設の使用料や窓口手数料等の「適正化」と称する値上げの準備経費が計上されていることは問題だと指摘しました。また、国保は国からの支援金1億8千万円を財源に国保税の軽減が可能であるにもかかわらず、一般会計から国保への繰入金1億円削減の財源としてしまいました。日本共産党市議団を代表して井上圭一議員が一般会計予算、国保会計予算及び水道会計予算に反対の意見を述べ、討論を行いました。



井上圭一 市議会議員

久松猛議員の 会派代表質問

平和首長会議の構成員として「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に主体的取組みを!



久松 猛 市議会議員

市長は「職員に署名の協力を求め、平和と人権のつどいなどのイベントでも協力を訴えるとともに、市のホームページからもヒバクシャ国際署名を案内できるようにする」と答弁しました

本市も加盟する平和首長会議は、広島市長を会長とする国連のNGO組織で、世界162カ国・7164都市が加盟し、国内では全市区町村の94.4%に当たる1643都市が加盟しています。昨年11月に開かれた国内総会では、被爆者団体がすすめている「ヒバクシャ国際署名」に賛同・協力することを確認しました。

も、ヒバクシャ国際署名は大きな役割を果たします。

「土浦市として署名に主体的に取り組むよう」求めた久松猛議員の質問に対し、市長は前向きで積極的な答弁を行いました。

【市のHPからヒバクシャ国際署名への入り方】

トップページの『最新情報』から「ヒバクシャ国際署名にご協力ください」をクリック。または、トップページの「検索」の枠の中に、「平和」または「ヒバクシャ」と入れて検索



新着情報にも掲載

また、国連では、昨年10月に核兵器禁止条約について交渉する国連の会議を招集するとして決議案が圧倒的賛成多数で採択され、今年の3月と6月に国連会議を開き、核兵器を禁止する国際条約締結へ大きな一歩を踏み出すなど、国際社会は核兵器禁止へ大きな一歩を踏み出しています。この国連の会議を成功させるために

すると、署名のページに進むことができます。署名用紙をダウンロードすることも、ネット署名をすることもできます。

中小企業振興基本条例の制定を

今、土浦市の「中小企業」の名のつく条例は、融資や補助金又は信用保証に関するものがあるだけで、中小企業の振興の指針になる条例はありません。中小企業法は「その地方公共団体の区域の自然的社会的条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」と、地方公共団体の責務を明確にしています。全国的には東京都墨田区をはじめ160程度の自治体で基本条例を策定し、中小企

業振興に取り組んでいます。

久松猛議員は土浦市の中小企業の置かれた状況を示しながら、基本条例策定の必要性を訴えました。答弁に立った中川清市長は、「今後十分な研究、検討をしたい」と述べました。



日本共産党土浦市議団
無料法律相談のお知らせ
毎月最終土曜日 午後1時半から
(亀城プラザ又は市民会館会議室)

※ 会場は変更になることがありますので、予約の際に確かめてください。

◎ 相談時間は30分程度です。要領よく相談して下さい。

◎ 完全予約制です。必ず予約してください。

◎ 予約・問い合わせ先
久松 猛 822-6494 井上 圭一 886-4642
日本共産党事務所 821-5778